



9/17

秋の喜びを肌で体感！

東根小学校で稲刈り体験

東根小学校5年生の児童たちが、小山沢地区中山間地域づくり協議会の皆さんから指導を受け、5月の田植えから行ってきた「米づくり体験学習」。この日、黄金色に染まった稲穂を刈り取りました。

児童一人一人が鎌を手に取り、刈り取った稲を稲木に丁寧に束ねました。大切に育ててきたお米を一つも無駄にはしないと、作業を終えた後も、田んぼに落ちている稲穂がないかを丹念に確認する様子も見えました。待ちに待った実りの秋一。その喜びを肌で感じ、より一層、新米を心待ちにしているようでした。



▲地元の先生から稲の束ね方を教わりました

9/27

建物火災で初期消火に貢献

高橋清吉さんに感謝状贈呈

5月3日に町内で発生した建物火災の際に、いち早く火災に気づき、通報および初期消火にご尽力いただき火災の延焼予防に大きく貢献された、高橋清吉さん（荒砥甲）に西置賜行政組合より感謝状が贈呈されました。

感謝状は、佐藤町長より手渡され、「危険をかえりみず、的確な判断のもと火災の初期消火にあたっていただき、火災の延焼を防いでいただいたことに感謝します」とその功績をたたえました。

この度のご尽力、誠にありがとうございました。



▲感謝状を手にする高橋清吉さん

町への寄贈に感謝

7月8日に青木薫氏より、ご自身の翻訳本や著書等72冊を寄贈いただきました。

寄贈いただいた書籍類は、町立図書館の「佐藤文隆文庫」内に「青木薫文庫」として新設しました。

新しい知識や広い視野を得ることができる貴重な機会となると思いますので、ぜひ多くの方にご利用いただきたいと思います。

青木 薫氏 プロフィール

1956年生まれ。県立米沢興譲館高等学校卒業、京大学理学部（佐藤文隆先生が教授をされていた物理学第二教室在籍）卒業、同大学院博士課程修了。理学博士。翻訳家。父は白鷹町深山出身。

専門の理論物理学を活かしたことから、数学、宇宙物理学まで手がけ、サイエンス翻訳の名手として名高い。2007年度日本数学会賞出版賞受賞。2023年度日本翻訳家協会翻訳特別賞受賞。





8/27

町のさらなる発展を—

白鷹町議会より町へ政策提言書を提出

この日、白鷹町議会（菅原隆男議長）から町政運営に関する政策の提言書が佐藤町長へと手渡されました。

近年の課題となっている有害鳥獣対策への支援強化（有害鳥獣被害対策実施隊の報酬見直しなど）や、農業の担い手確保と持続可能な農村づくりの推進、安心できる子育て環境を通じた婚姻・出生率の向上など、3テーマ6項目について、来年度予算に反映するようにと要望されました。



▲菅原議会議長（中央）より提言書を受け取る佐藤町長（左）

9/12

おいしいりんごに育ってね

鮎貝小学校でりんごの葉摘み

鮎貝小学校3年生の児童たちが、りんごの葉摘み作業を行いました。

この作業は、果実全体にまんべんなく着色させるために、りんごに密着している葉を摘み取っていく作業です。児童たちは、ひとつひとつの実を確認しながら、不要な葉を一枚一枚手で取り除き、日光が適度に当たっているかを確認しながら丁寧に作業を進めていました。

その後、児童たちが事前に作成したオリジナルシールを貼り、世界で一つだけのりんごが立派に育つことを楽しみにしている様子が見られました。

▶ひと汗かいた後の一杯は最高！

▼丁寧に作業をすすめました。



9/13

若者の地元定着と人材確保に向けて—

白鷹町商工会が町へ要望書を提出

白鷹町商工会（吉田博之会長）は、人材確保に向けた取組と、若者を呼び込むための施策を柱とした要望書を町に提出しました。

少子化や町内就職率が低迷する中、若者の地元定着・Uターンを多くの事業所が期待している状況下で、町内就職者には欠かせない自動車免許取得費用や車両購入の補助、従業員向けのアパート等の整備に対する支援、人材確保に向けたマッチング機会の構築など、企業と町が連携を図りながら、就労環境の整備に取り組みたい旨の強い要望が伝えられました。



▲吉田会長（中央）より要望書が手渡されました